

事業所における自己評価結果(公表)

【放課後等デイサービス】

公表: 令和6年 2月 29日

事業所名: あゆみ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			活動内容や利用人数で児童をグループに分け、対応している。	
	2	職員の配置数は適切であるか	○			基準よりも子どもにあわせて多く配置している。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			全てのバリアフリー化は行っていないが、入り口にスロープを設置している。	
業務改善	4	業務改善を進めるための、PDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			随時、話し合いを行い職員の共通理解に努めている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者の意向や情報を収集し、改善につなげている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページにて公開している旨を伝えている。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○		効果的な外部評価を検討していきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			各種の研修に参加し研鑽を積んでいる。また、月1~2回職場研修を行っている。	
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別に面談をして支援計画に反映させている。	
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			関係機関からの情報も得て、支援にいかしている。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			ミーティング、カンファレンスを実施し、個々に応じた支援方法を行っている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			リーダーを交代制にして、活動プログラムのバリエーションを増やし、いろいろな活動を経験できるように取り入れている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○				第1・3・4土曜日だけの開園です。その時期ならではの活動やSST・運動遊び等を組むようにしています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			毎回、療育家を個々に合わせて設定している。	
	15	支援開始前に職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			活動内容についてミーティングを行っている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			療育終了後に子どもの行動や保護者の様子について確認している。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			学年に応じて活動内容を考え、個別の記録をとっている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			個別支援計画を基に随時モニタリングを行っている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○				

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者 との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達支援管理責任者を中心に参加している。	
	21 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			個々の必要に応じて、学校に訪問し連携を図っている。	
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○		現在、該当児の在籍がありません。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			連携を取りながらスムーズな移行に取り組んでる。	
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○				依頼があれば情報提供の準備はあります。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			関係機関の連絡会や研修会に参加している。	
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○		個人情報に配慮しながら、今後、検討していきたい。
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			地区のネットワーク会議や連絡会に参加し、情報を得ている。	
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			子どもの様子や発達の状況などについて、その都度、伝えるようにしている。	
保護者への 説明責任等	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○		児童発達支援に在籍している時に、ペアレントプログラムに参加している方がいます。放課後等デイでは市の教育委員会主催のものに参加されている方もいます。
	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			入園の、面接時に重要事項で伝えていきます。	
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○				保護者からの相談は登園日だけではなく電話対応や保護者のみ来園でも対応できるよう配慮していく。
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○		ご家庭からの意見も取り入れながら検討していきたい。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○				
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			定期的に活動内容を写真でお知らせしています。	
	35 個人情報に十分注意しているか	○			法人のプライバシーポリシーに基づき面談時に説明し同意を得ている。	
	36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			保護者と直接話をして配慮できるようにしている。	
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○		併設している施設の行事活動に参加し交流を図っている。

	チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時 等の 対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応 マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			マニュアルを作成し 実施している。	
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他 必要な訓練を行っているか	○			毎月、避難訓練を 実施している。	
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する 等、適切な対応をしているか	○			毎年、虐待に関する 研修を実施してい る。	
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかにつ いて、組織的に決定し、子どもや保護者に十分に説 明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に 記載しているか	○			保護者送迎のため、 療育の様子を参観し てもらっています。	
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示 書に基づく対応がされているか	○			入園前面接で聞き 取りをして個々に 応じている。	
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有してい るか	○			作成した記録簿を職 員間で回覧して改善 や注意点について 周知している。	

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

○ 「はい」、「いいえ」の欄は、数を記入するのではなく、職員による自己評価結果を踏まえ、職員全員で討議した結果について回答すること。(該当する方に○を記入)